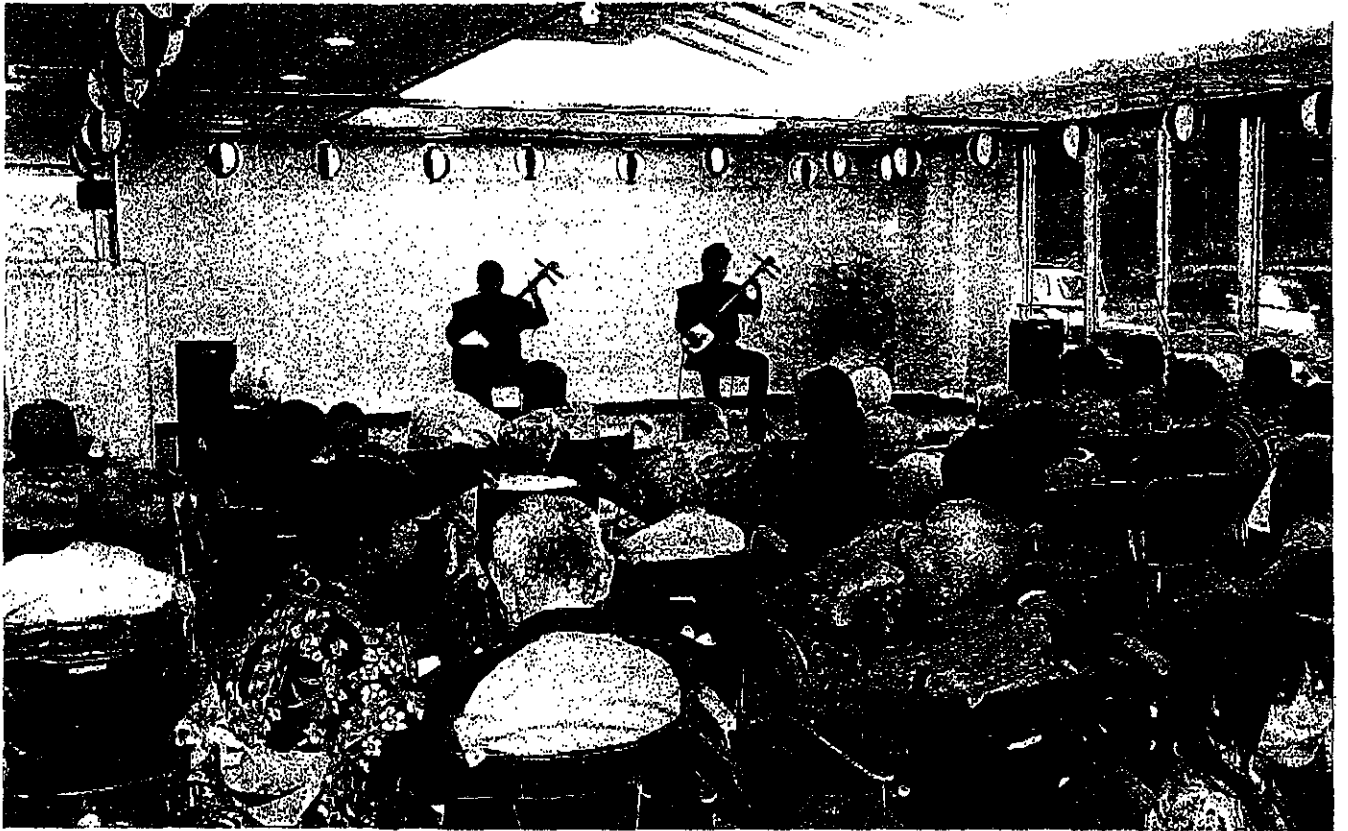


黒木高等学校

【 福岡県 】

広  
報

# 光陽だより



演奏者は大牟田市在住、宮原 美干人 様 末藤 優 様です。

夏の大イベント『光陽の郷夏祭り』が黒木高校や上陽町青年団ほか多数の皆様のご協力により盛大に開催されました。

ご家族様、関係者各位、打越区民の皆様など多くの方々が参加されました。ご利用者様も踊りや津軽三味線の演奏を楽しまれ冷たいビールやかき氷を美味しく頂かれました。

特別養護老人ホーム

## 光陽の郷

八女郡上陽町大字北川内2818-1  
 TEL(0943)54-3006  
 FAX(0943)54-3007

施設実習を終えて

福岡県立黒木高等学校  
福祉看護コース三年

石橋 美佳

私は、七月十二日から八月六日まで光陽の郷で施設実習をさせていただきました。実習をしていく中で、私が一番難しかったのは、利用者とのコミュニケーションでした。初めは何をしたらいいいのかも分からず、「正直」とりあえず笑っておこう。」と思っていました。でも、実際にお年寄りの方と接したり、寮母さんが利用者の方と接していられる姿を見ていて、自分の中でどんどん気持ちが変わっていきました。「利用者の方に喜んでいただきたい。」「利用者の方の苦痛を少しでも和らげたい。」「利用者の事をもっと知りたい。」など思うようになりました。そのような気持ちでお話するととんとん会話も弾み、自然に笑えるようになりました。

私は、この施設実習を受けるまで、介護は全て技術と想っていました。でも、実習を通してそれ以上に大切な気持ちの面で、とても大きなものを得られたと思います。この実習で学んだ事を勉強だけでなく、生活全体に生かしていきたいです。光陽の郷のみなさん四週間本当にありがとうございました。



麻生医療福祉専門学校  
福岡校 社会福祉科

西木 久美子

私は、出身地の上陽町の光陽の郷で十二日間、実習させていただきました。高齢者施設での実習は初めてで、わからない事ばかりでした。しかし、様々な経験をさせていただき、あつという間の十二日間でした。楽しい事ばかりでなく、辛いと思う事もありました。そんな時の、さりげない職員の方の言葉や利用者との会話がすごく励みになりました。また、高齢者を介護する時、会話をする時に心がけておく事など学校では学ぶ事のできない様々な事を学ばせていただきました。利用者と接する中で感じ考えさせられた事もたくさんあります。それは、一日、二日ではなく、十二日間実習した事で感じる事ができました。一日一日違う利用者の表情や体調を理解し把握する事はとても大変で難しい事です。一つだけではなくたくさんさんの目を持ち、利用者を観察する事の大切さを学びました。そのためには、もつとたくさんさんの知識を持つ事、根気強くいられる事が必要であり、また私にはどちらも不十分だと感じました。これから、この実習で感じ、得た事を忘れずにしつかりとした自分の考えを持ち、福祉に携わりたいと思っています。

利用者、職員の方々に暖かくご指導いただき、よい実習、経験をすることができました。大変感謝します。ありがとうございました。

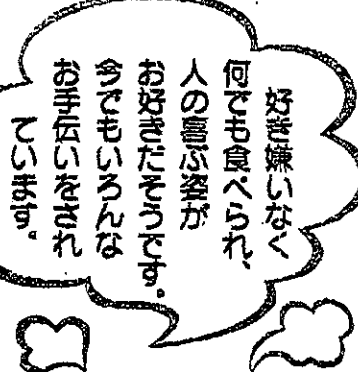
百歳のお祝い

長生きの秘訣は……。



中島 マスノ 様

大変よく働かれてあつたそうです。



馬場 シケノ 様

好き嫌いがなく何でも食えられ人の喜ぶ姿がお好きだそうです。多岐でもいろんなお手伝いをされています。

光陽の郷最高齢者

九月十日、内閣総理大臣及び福岡県知事表彰を受けられました。

中嶋 タケヨ 様

明治三十三年十月十日生まれ



牛島 ナツ 様

明治三十三年五月十五日生まれ



101歳

# 小松島西高等学校

【 徳島県 】

○

○

## 小松島西高福祉科1年生

# 知的障害者支援センターで交流

小松島西高福祉科の1年生20人が、日和佐町北河内の社会福祉法人・柏濤会かしわの知的障害者生活自立支援センター「ばんそうす&す」を訪れ、利用者との交流を深めた。

介護福祉士などの資格取得を目指す授業の一環。生徒たちは施設内や、同町赤松にある同センターの農作業場「元氣村」、パン工房

「ベーカリー花畑」などを見学した後、今回の訪問のために練習して来たハンドベルの演奏やソーラン節を披露。入所者らと一緒に踊りを楽しんだ。

「下さい」とあいさつする生徒を代表して田中あゆみさん(16)が「初めは緊張していましたが、温かく迎えていただき有難うございました。実習で習った事を生かして頑張ります」と答えていた。



交流を深める小松島西高校の生徒たちと福祉施設の利用者ら

# 福祉学会報

発行所  
徳島県高等学校  
教育研究会福祉学会  
幹事 正子 裕子  
編集人 小倉みづつ 亀代本 岡本 印刷  
印刷 グランド

## 「二十一世紀の福祉社会を担う人材育成をめざして」 地域と共に歩み社会的実践力を育てる高校福祉教育

会長 小倉正幹



平成十五年度の福祉学会発起後、県教育委員会をはじめ福祉学会関係各校や地域の方々の協力を得て平成十六年

十月には全国福祉科校長会、総会及び研究会を本県において無事終えることができました。改めて御礼申し上げます。

さて、現代の日本は、高齢社会、超少子化社会、人口減少社会となっている。このような状況の中、本年度は、昨年末での福祉を取り巻く状況とは異なる点が現れてきた年であった。具体的に、介護保険法の見直しにより、介護福祉士や訪問介護員など福祉関係資格を持つ人の質の向上が明確に打ち出されたわけである。

その第一は、介護福祉士の質の向上を目指した国家試験改革による、介護技術講習会の導入があげられる。関係各校においては県内介護福祉士養成施設との連携を深め、生徒受講への指導を行い、対象となる生徒の多くを参加させた。四日間講習を終え、講習の修了認定を得ることができた。この講習会は将来介護福祉士として働く希望のある人は誰でも受講可能であるため、訪問介護員として働きながら資格取得を目指す卒業生にも今後は非受講し、いただきたいと思う。

第二に、訪問介護員養成研修の見直しの動きがあげられる。在宅介護施設においてよりよい介護

サービスを提供できる人材の育成をめざし、新たな方向へと道筋を示す必要が出てきた。訪問介護員という社会の多くの人になじみのある資格は、保護者や地域の方々にも認知されており、進路決定時にも大切な資格である。

日々の学校教育の中ではとかく改革や変更はゆつくりと段階を踏んで進んでいくが、高齢社会、超少子化社会の日本の福祉に関する資格は非常に速いスピードで変化していきつつある。高校で福祉について学び、資格を得ることは、将来の福祉職のスタートラインに立つことである。生徒や保護者、また福祉施設の方々も協力して取り組み、そのスタートラインに立たせたいものである。

現在、県内全日制高校の卒業生の約半(二割)は卒業後、大学、短大、専門学校に進学して、より専門性を深めようとしている。一方、高校卒業後福祉施設等に就職する生徒はほとんどは高校での学習をもとに社会で活躍しようとしている。高校卒業後、生活経験が乏しい、人生経験が未熟等を理由として福祉サービスは無理ななどという意見が一部にはあるが、福祉に夢を持つて進学してきている生徒、人ひとりを評価して欲しいものである。進路先の施設においては平成十八年一月に全国福祉科校長会が実施した調査においてもよい評価を受けている。人ひとりの温かな気持ちや将来伸びゆく土台となる基礎学習の大切さを目を向け指導していくべきではないだろうか。

福祉の担い手に関する社会の要請に込めつつ、志す生徒達を前に、鉄は熱いうちに美しく、強く生徒の進路を確実に保障し、社会で本々の意味で信頼される人材の育成が求められている。何の打算もなく、人が喜んでくれるうれしさから福祉を

## ごあいさつ

徳島県立総合教育センター学校支援課

指導主事 竹原明美

現行学習指導要領がスタートして三年目を迎えております。福祉に関する専門科目の教授法も定着してきたことと思えます。しかし、一方で今年度から、介護福祉士国家試験受験のために介護技術講習会が導入されており、また、介護職員一級・二級の資格取得が導入されています。この研修は、〇〇六年度後半から開始し、現行の訪問介護員研修を五〇〇時間から開始するとしております。そうなること、高等学校の主任普通科での訪問介護員一級・二級の資格取得がでさなくなり、資格取得を特色に打ち出している学校は、大変悩まれていると思えます。しかし、生徒たちに福祉を学ぶ基礎や福祉マインドを学ばせることは非常に重要であり、意義深いことだと考えます。

さて、平成十六年十一月に公表された同僚学習力調査の結果から、子どもたちの学習力低下が危惧されております。生徒の学力低下を防ぐためには、知識・技能はもちろんです。学ぶ意欲、思考力、判断力、表現力などを含めた学力を子どもたちに身に付けさせることが必要です。このことは当然福祉教育にもあてはまります。昨年、一昨年と二力年をかり、先生方のお力により、社会福祉基礎力と基礎学習の徳島県版評価規程が完成しました。佐田淑一氏は、指導と評価の一体化とは、評価を想定した指導を行うことであり、また、指導のあり方との関係



士別東高等学校

【 北海道 】

# 将来の道 心構えは

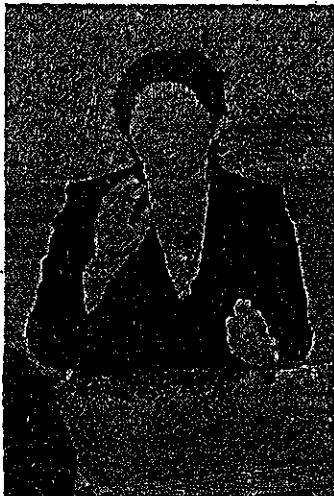
士別東高 先輩3人が体験披露

【士別】士別東高(三)の品純一校長、三十一人で二十九日、同校OG、OBによる進路講演会が開かれ、全校生徒が耳を傾けた。

同校では、生徒の進路選択の参考としておと、講演会を毎年実施。今年も市内で働く三人を招いた。

講師は佐々木香穂里き

「分らないことは聞くこと」と実習の体験談を話す佐々木さん



【士別】士別東高(三)の品純一校長、三十一人で二十九日、同校OG、OBによる進路講演会が開かれ、全校生徒が耳を傾けた。

同校では、生徒の進路選択の参考としておと、講演会を毎年実施。今年も市内で働く三人を招いた。

講師は佐々木香穂里き

# 北海道新聞

2005年 9月30日 金



# 不動岡誠和高等学校

【 埼玉県 】

# 宇野 朱音さん

画)のパレエ歴は  
でよく踊っていた  
イ・パレエ・アカ  
おせてくれた。  
ハップ・パーンも通  
ル(英国)に留学  
学が毎日。ロシア  
在で暮らす生活を  
「日本人は難しい  
ることも。「オー  
しても「サの問題

等面倒な問題があつて「今年卒業となる  
七月までには、多くのオーディションを  
受けたらいい気合の入る宇野さん。「お客  
さんを楽しませたい」という真「直ぐな  
気持ちでプロへの道を目指す理由。練習  
は辛い。「でも、終わってお客さんに拍  
手されたりすると達成感があるから……」  
だから道はあきらめない。「次から次に  
チャレンジして行くのみです。」  
瞬間、宇野さんの背筋がピンと伸びた。



# 新井 紀江さん

「福祉関係の仕  
事をしてみたい。  
医療事務の職に  
就きたい。海外  
も行ってみたい  
」と、夢と希  
望に目を輝かせ  
る新井さん(熊  
谷市)。桐生短気  
大学生活科学科  
経営福祉コース  
に在籍する一年生だ。  
明確なものはないが、漠然とした目標がある。「働い  
てきちんと年金を納め、経済的にも精神的にも自立し  
たい。その為に、今できることを勉強していまふ」と。  
「友達と話している時や、大好きなフリン・ペットを吹い  
ている時が一番楽しい」。また、「私たちを育ててくれ  
た父と、強く明るい母。誰よりも両親を尊敬し、私  
もそんな家庭を持てたいいな」と話す。身近にある  
小さな幸せ、それが幸福なことと気付く。純粋な心の  
持ち主なのだろう。

好きな言葉は「自由」。義務と責任を果たさなければ  
自由を得ることはできない。新井さんは今、20歳を迎  
えその言葉の重みを実感している。

# 活力源は利用者さんの笑顔

## 斉藤 里佳さん



たのは「親父の仕事  
こいいなと思つて」  
を追い越し、自分  
る事が目標だとい  
「だらけの毎日だが  
えていくのが楽し  
から「寝ることも仕  
と自己管理も徹底し

「利用者さんの笑顔が大好きです」。そう語る斉藤里佳さん  
は、現在、社会福祉法人彩野会 特別養護老人ホーム「穂宮  
苑」で働く介護福祉士。「寮母さん」と呼ばれながら、お年  
寄りの介護を行っている。

中学生の時のボランティア活動がきっかけで、県立不動岡  
誠和高校(羽生市)社会福祉科に進み、福祉の基本を学んだ。  
高校からの推薦で現職に就く。現在仕事をしながら、「学ん  
だことを実際に応用していくことは難しいです」と、実社会、

それもお年寄りと相対する仕事の大変さを実感しているとい  
う。ただ、本当の孫のように接してくれる利用者さんの笑顔  
を見るたび、そんな気持ちも吹き飛ぶという。  
「学生でないとは体験できないこともあるけど、働いてみて  
初めて学べることもたくさん。今は本当に楽しいです」。天  
職と呼べる仕事を見つけた20歳の笑顔は、とても輝いて見え  
た。

# ギターデビューを目指して

## 浅賀 俊介さん



「ザ・チャイルドシート」というアマチュアバンドで  
ギター・ボーカルを務める浅賀俊介さん(秩父市)。  
中学生の頃、友達のお兄さんや先輩たちの影響でギタ  
ーを始める。高校時代にバンドを結成し、現在は音楽  
系の専門学校で学びながら都内を中心にライブ活動を  
繰り広げている。  
浅賀さんは曲のほとんどを作詞・作曲しているバン  
ドの中心メンバー。その曲調はロックやポップスに英  
語詞をのせたもので、非常に聞きやすく将来性を感じ  
た。「メンバーと一緒に苦労しながら曲を完成させてい  
くのが楽しい。もちろんライブも楽しいですよ」とバ  
ンドの魅力を語ってくれた。  
趣味は料理と、意外な素顔も持っている。今後は日  
本語の曲も作っていきたいと語る。目指すはメジャー  
デビューだ。